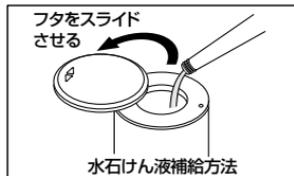
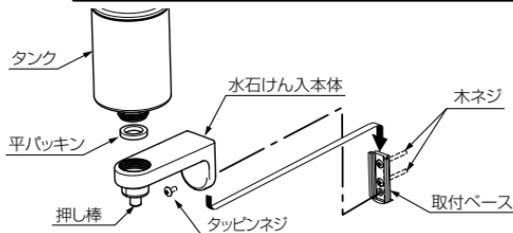


施工業者様へお願い

この説明書は、捨てないでください。また施工後は、必ずお客様にお渡しください。

水石けん入 (壁付タイプ) 取付説明書

KF-24G



1. 取付位置を決め、まず取付ベースを2本の木ネジ (又はAYボルト) で、壁面に取付けます。
 2. 水石けん入本体を図の様に上からスライドさせタップピンネジで固定させます。締め付け過ぎに注意してください。
 3. 水石けんを入れて吐出、止水するか確認してください。
万が一液が漏れる場合はタンクを増し締めしてください。
- 使用可能な水石けん液は、弊社公式ホームページをご確認ください。



※表以外の水石けんや希釈倍率では、水石けんが固まったり、詰まったりして、吐出しません場合があります。
 ※クレゾール等の消毒液は使わないでください。
 ※水石けん成分に次亜塩素酸ナトリウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、グルコン酸クロム、ヘキシジンが含まれる場合、金属腐食の恐れがあり、吐出しなくなることがあります。
 ※異物が混入した水で水石けんを希釈しないでください。詰まり、故障の原因になります。

使用可能な水石けん液の中で、AC-30828 (シャボネット ユ・ムP-5、内容量:5kg) と AC-23269 (シャボネット ユ・ムP-5、内容量:18kg) はLIXILで取り扱っています。
 LIXILの公式オンラインショップでもご購入いただけます。



- 補給に使用する容器はきれいなものを使用してください。ペットボトルや市販の補給タンクを使用すると便利です。シンナー等の有機溶剤、洗剤の空き容器などを使用すると故障・異常の原因になりますので使用しないでください。
 - あらかじめ希釈した水石けんを補給してください。水石けんの原液を先に入れ、後から水を補給すると吐出状態悪化の原因になります。
 - 強い力や衝撃を加えたり、もたれかかったりしないでください。
 - 破損して、水石けんが漏れる恐れがあります。
 - メッキのハガレはそのまま放置しないでください。
 - メッキ面のハガレやキズで、ケガをする恐れがあります。
 - タンクフタの回転軸中心位置は物によって異なりますが、不良品ではありません。
- 【お手入れのご注意】
- 器具の表面を傷つけたり侵したりする恐れのある次のものは使用しないでください。
 - クレンザー、磨き粉等粒子の荒い洗剤・シンナー、ベンジンの等溶剤・酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤・ナイロンたわし、ブラシ等
 - 器具表面の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。
 汚れがひどいときは適当に薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。
 その後水でぬらした柔らかい布をよく絞って、洗剤をふき取り、最後に柔らかい布でからぶきしてください。
 また、部品等に劣化がみられましたら早めの交換をお願いいたします。

⚠ 注意

- 清掃時、メンテナンス時にタンクを着脱する際、平パッキンが確実に装着されているか確認してください。
 ※液漏れの恐れがあります。
- 長期間(5日程度)使用しない時は、水石けんを抜くか、押し棒を数回押して水石けんを吐出させてください。
 ※使用しないと水石けんが固まり、吐出しなくなります。
- 使用頻度が少ない(毎日使用されない)場合は水石けんの希釈倍率を高くして使用されることをお勧めします。
 ※水石けんが固まる期間は使用環境や希釈倍率によって異なります。
- 水石けんが吐出しなくなった場合は、以下のいずれかの方法で水石けんの詰まりを取り除いてください。
 - ① 水石けん吐出するまで押し棒を10回程度押す。
 - ② 押し棒付近をお湯がぬるま湯で洗浄する。
 - ③ タンク内の水石けんを抜き、お湯がぬるま湯を入れて吐出するまで押し棒を数十回押す。